



左/焼杉を使ったシックな色の外壁。プールのそばにはテラス席もあります
 中/サウナもあり、体もポカポカに
 右/二戸産食材をふんだんに使ったメニューが豊富



座敷わらしの「電燈くん」
 八戸市のイメージキャラクター「しまちゃん」



コンセプトは「出会いと学びのアートファーム」

左・中/さまざまな活動を受け入れるジャイアントルーム
 右/本格的な展覧会を行うホワイトキューブ

建築写真：阿野太一

3月末オープン 座敷わらしの里 金田一温泉郷 カダルテラス金田一

アクセス、問い合わせ先
 ▶住所…二戸市金田一字湯田 41
 ▶車以外…JR二戸駅下車タクシー 15分、金田一温泉駅下車タクシー 5分または、徒歩 20分
 ▶車の場合…久慈市中心部より車で約 60分
 圏カダルテラス金田一
 ☎0195-26-8533
 ▶HPはこちら

皆が「かたる」場所
 二戸市公民連携事業で整備した温泉宿泊施設「カダルテラス金田一」がいよいよオープンします。
 当温泉の泉質は「弱アルカリ性単純温泉」で、とろりとしたお湯が特徴です。大浴場には源泉風呂や炭酸泉風呂、ドライサウナなどを完備しています。レストランでは地元で採れたお米や肉、果物を使用し、健康に配慮した食事を提供します。
 隣接する公園も一新し、プールを活用したアウトドア体験を計画。また、デッキスペースを使ったマルシェや音楽イベントなども予定しています。
 二戸が誇る温泉や食、自然を堪能し、心も体も安らげるひと時を過ごしませんか？

令和3年11月オープン 種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する 八戸市美術館

コレクションラボ001
舟越保武展 静謐の中に佇む
 具象彫刻の頂点を築いた舟越保武の世界を紹介します。
 ▶会期…3月12日(土)～6月20日(月)
 ▶観覧料…無料
 舟越保武 (聖マリア・マグダレナ) 1984年

生まれ変わって開館
 八戸市美術館は、従来の「もの」としての美術展示が中心だった美術館とは異なり、「ひと」が活動する空間を大きく確保することで、「もの」や「こと」を生み出す新しい形の美術館として注目を集めています。
 「展覧会」と「プロジェクト」、そして「コレクション」を軸に、従来の立場や枠組みを超えてアートと人との出会いの輪が広がり、そこから得た学びが栄養となつて人々の感性や創造力が育まれ、まちや暮らしをより豊かなものにする。そんな美術館を目指して、日々挑戦を続けています。
 八戸市美術館(八戸市番町10-4)
 ☎0178-45-8338



グランドオープンは3月26日(土)
 ▶営業時間…日帰り入浴は午前6時～午後10時(最終入場午後9時)
 ▶入浴料金…大人 700円、小学生 400円、3歳から未就学児200円 ※お得な回数券あり
 ▶宿泊情報…38室(シングル、ダブル、ツイン、和室)
 ▶宿泊料金…素泊まり 1名 6,930円～、2名1室 10,780円～ ※入湯税別
 ●プレオープンは3月14日(月)午前10時～(日帰り入浴、飲食のみ)

オープン情報
八戸・二戸の



展覧会「持続するモノガタリ」語る・繋がる・育む
 ▶会期…3月19日(土)～6月6日(月) ※展示替えあり。4月27日(水)から後期展示
 ▶開館時間…午前10時～19時(入場は18時30分まで)
 ▶休館日…火曜日(祝日の場合はその翌日) 5月11日(水)※5月3日(火)は開館
 ▶観覧料…一般 800円、小・中・高校・大学生 100円
 ※団体、障害者手帳をお持ちの場合等割引あり
 ▶HPはこちら

「北緯40°ナニヤラ連邦」ロゴマーク
 釣り具や農具は、三圏域の誇る産業を、また、三つの星は、北緯40°台の同緯度において、同じ星空を見る三圏域の共同性や一体感を象徴します。

「広報紙面交換」
 八戸市・二戸市・久慈市は、古くから密接な関係にある地域です。この事業は、3市でお互いのまちの魅力を広報紙で紹介し合う交流企画です。八戸市と二戸市の話題が掲載される、「広報はちのへ」、「広報にのへ」は、各市ホームページでご覧ください。